

ヒナノシャクジョウ

Burmannia championii Thw.

ヒナノシャクジョウ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

きわめて産地が限定されており、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

県内には類似種はない。繊細な白色の植物で高さ3~15cm、葉は退化して鱗片状。花には小柄がなく茎上に1~数個が頭状に集まる。外花被片は3個、筒状に合着、長さ6~10mm、翼がない。内花被片はへら状で小さい。雄蕊は外花被片と互生し、内花被片の下につく。蒴果は長さ1.5mm。

国内分布

本州(関東以西)、四国、九州、琉球。

県内分布

南加賀区に分布。本調査では2産地が報告されている。

生態など

腐生植物。一年生または他年生草本。花期は8~10月。

生育環境

日陰の林床。

危険要因

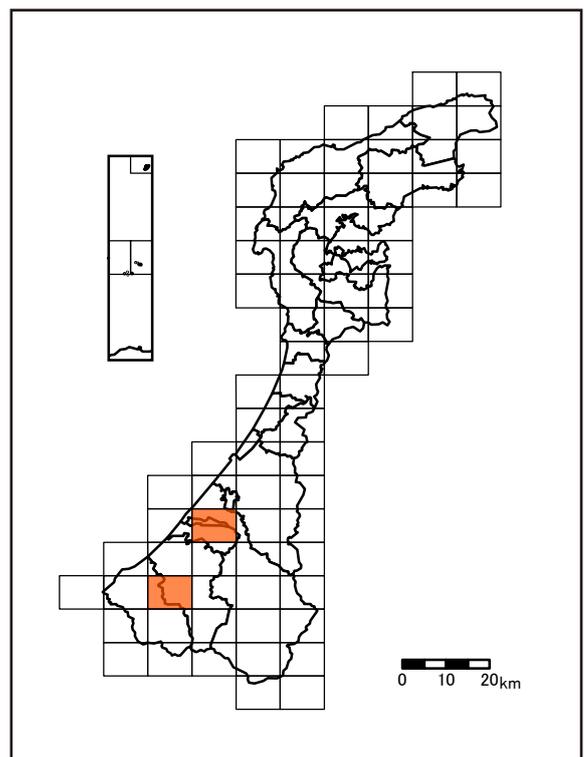
道路工事、踏みつけ、産地局限、その他。

特記事項

ごく近年、県内での分布が確認された。



本多郁夫・2008年8月13日・加賀市



県内の分布